

令和6年度第1回川崎市食育推進会議部会（摘録）	
日時	令和6年7月29日（月）午後3時～4時30分
会場	川崎市役所本庁舎2階204会議室
出席者	＜委員＞佐野喜子部会長、濱谷由美子委員、當間幸江委員、田邊静江委員、小出善茂委員、小川町子委員、吉岡綾子委員、大川護委員、小林直樹委員、杉中祐介委員、久津摩英子委員、志賀美知子委員（委員名簿順） ＜事務局＞健康福祉局保健医療政策部担当部長 半澤元章、市立看護大学公衆衛生看護学領域講師 遠藤雅幸、経済労働局都市農業振興センター農業振興課長 川口愛、環境局生活環境部減量推進課長 増田亘宏、こども未来局保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当課長 佐藤美佳、教育委員会事務局健康給食推進室食育推進担当課長 内野直美、健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 永井麻由美、保健医療政策部担当課長 阪田敬子、健康増進担当課長 高橋伸孝、健康増進担当課長補佐 國米佑宇、健康増進担当主任 北野葉子、健康増進担当 前田恵里、青木優里
欠席者	＜委員＞石渡宏之委員 ＜事務局＞健康福祉局保健医療政策部担当理事 田崎薫
傍聴人	なし
1 開会	
事務局	当部会は川崎市審議会等の会議公開に関する条例に基づき公開する。
2 議事	
（1）令和5年度食育の取組について（報告）	
佐野部会長	議事（1）について、事務局から願います。
事務局	資料3に基づき、令和5年度食育の取組について説明。
佐野部会長	ただいまの議事について、意見や質問はあるか。
委員一同	（特になし）
（2）「かわさき健康づくり・食育プラン」の概要と方向性について	
佐野部会長	議事（2）について、事務局から願います。
事務局	資料4に基づき、かわさき健康づくり・食育プランの概要と方向性について説明。
佐野部会長	ただいまの議事について、意見や質問はあるか。
志賀委員	最近、睡眠について注目されている。睡眠に関する内容がもう少しあるとよいと思う。
事務局	睡眠の質を向上させるためには、適度な運動や規則正しい食生活等、普段の生活リズムを整えることが重要であることから、その観点から広く周知していきたいと考える。
大川委員	教育委員会の取組、「かわさきそだち」を利用した給食の提供については、中学校・特別支援学校において、市内産野菜を使用した献立を実施したとあるが、小学校の状

	況はいかがか。
事務局	小学校では自校献立の日に地場産の野菜等を取り入れるなど、各学校単位で取り組んでいる。
(3) 令和6年度食育の取組について(案)	
佐野部会長	議事(3)について、事務局から願います。
事務局	資料5に基づき、令和6年度食育の取組について説明。 資料6に基づき、委員間の連携について説明。
佐野部会長	ただいまの議事について、意見や質問はあるか。 教育委員会からスポーツパートナー等との連携による取組の説明があったが、具体的にどの団体と連携するのか。
事務局	川崎ブレイブサンダースを予定している。小・中学校の子どもたちに、より関心を持ってもらえるよう企画をしている。
小林委員	川崎市は市民ミュージアムを新たに作る予定だが、市民意見によると、カフェ・レストランの併設を希望する声が多い。市の「新たなミュージアムの整備について事業者等との「対話」(サウンディング調査)」に参加しているが、カフェ・レストランにおける地元食材の活用について話題に上っていることを紹介する。
佐野部会長	各団体で取り組んでいることや、これから取り組めるとされることについて意見をお願いします。
濱谷委員	栄養士が市民に向けて知ってほしいことについて、イベント等に参加し、伝えている。お口の健康フェアにも参加して、食事相談を実施した。コロナ禍には、20枚ほどポスターを作成し、掲示等を通して普及啓発をしていた。熱中症、備蓄、高血圧等に関するポスターがあり、現在も活用している。9月1日に麻生区で開催される市の総合防災訓練にも参加し、備蓄できる食材や量等を紹介する予定。また、12月の市民まつりにも参加する予定である。
田邊委員	児童にも関わるが、主に高齢者に関わりがある。コロナ禍を経て、宅配弁当を利用する人が増えたと感じる。宅配弁当だと野菜が不足しがちなため、野菜を買うが、量が多く使いきれず、冷凍野菜を使うという声を聞く。冷凍野菜の上手な活用方法について、伝えていく必要があると感じる。また、スーパーについては、カレーライス用の野菜を数種類セットして売られているが、その他の料理についても野菜の量を小分けにしてセット販売するような工夫をお願いできると有難い。
小川委員	主に料理講習会の開催やイベントへの参加を通して、減塩の工夫や野菜の摂取目標量を伝えている。特に、忙しい若い世代や一人暮らしが多い高齢者には、冷凍食品を使用したレシピを積極的に伝えている。野菜は、目標量の350gを達成するために、野菜単品の摂取に限らず、一つの料理に色々な野菜を足すようにする、コンビニで買うときには野菜を少し足すようにする、減塩は栄養成分表示を見て確認すること等を伝えている。350gの野菜を量って体感をする取組や、市制100周年にちなんで100gの野菜を使ったメニューを作成し、市のクックパッドや広報紙に掲載する予定であ

	る。
大川委員	経済労働局の取組報告に 7 月に新庁舎で夏野菜の出張販売・PR を行ったとあったが、野菜を販売する窓口については、南部は不足しており、出張販売で対応をしているところである。川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアについては、花を提供しているが、野菜も何らかの形で協力していきたいと考える。市民農園については、川崎市でも実施しているが、JA でも指導付き体験型農園あぐりっこ農園を実施しているので活用をお願いする。 食の教育としては、個々の農家が小学校に出前や、小学生を農地に呼んでの体験等を独自に実施していると思われるが、全容は把握できていないところである。把握できるような取組をしていきたいと考えるため、その際は教育委員会に協力をお願いするかもしれない。
杉中委員	社内の取組としてはグループ内外、協力会社の約 4000 人が工場で働いており、その社員に向けて食堂を提供しているが、野菜とたんぱく質を非常に多く摂れるメニューを看板メニューとしている。日替わりで提供し、メニューの中でも最上段に記載し、利用を促す取組をしている 市民向けとしては、工場見学や学校を訪問しての味覚教室を実施している。若いうちから栄養について興味をもっていただくこと、自分の体を健やかに Well-being に過ごすためには、どうしたらよいかをお伝えすることに取り組んでいる。夏休みはさらに、ゴーヤを使った親子料理教室等のイベントも実施している。
志賀委員	市民公募委員であるが、栄養士みやまえ応援団に所属しており、地域に対して食生活の大切さを伝える活動を料理教室や宮前区のイベントへの参加等を通して行っている。料理教室では、生活習慣病予防として高血圧や糖尿病を防ぐための食事に関する講話と調理実習を行っている。また、川崎北高校で食育の授業を 20 年近く実施しているが、最近の高校生の食に関する知識の向上を感じることもある。 ベジチェックは皮膚のカロテノイド量を測定している。野菜を、緑黄色野菜を 1/3、淡色野菜を 2/3 の割合で摂取すると、高数値は出ないと実感することについては、課題を感じる。
當間委員	川崎市 PTA 連絡協議会では PTA' s キッチンという食育推進コンテストを実施しており、現在も開催中である。夏休みの宿題と絡めて 9 月末までを応募期間としている。東京ガス株式会社や味の素株式会社、JA にもお世話になっている。昨年度の入賞作品については、クックパッド川崎市のキッチンの掲載に向けて準備をしていたが、文字制限や御本人の許可が必要なこともあり、2 件の掲載予定である。今年はクックパッドの掲載に向けた調整を事前をお願いしているため、了承が得られた全てを掲載したいと考える。 PTA では 8 月 23、24 日に日本 PTA 全国研究大会川崎大会を等々力で開催する。2 日目に活動事例発表があり、PTA' s キッチンの事例発表を予定している。大会のテーマは「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう、「縁」の力～」であり、このウェルビーイングに食育を絡めることができ本当に良かったと思うところ

	ろである。 PTA's キッチンの取組は、市の食育計画の重点的視点に関連する働き世代、若年世代に関わることが多いため、その Well-being に繋がればと考える。
小出委員	食育は食欲につながると感じている。食品衛生協会の事業ではないが、個人的に調布市にある幼稚園から魚の解体ショー開催の依頼を受け、魚をさばき、刺身を作って見せた後、絵を描くという食育の取組をした。子どもたちの目の輝きから、食育が食欲につながったと感じた一例である。また、町田市にある私立小学校からは、なまずがとれたからと調理の依頼があり、唐揚げ、煮物、生食と用意したこともある。 食品衛生協会としては、リスクコミュニケーション事業として、保育園や幼稚園を対象に手洗い教室を行政と連携しながら実施している。また、食の安心・安全・五つ星事業、簡単に言えば食品衛生協会のミシュランという形で衛生管理等、5つの項目を満たすと認証プレートを配布する取組を4月から開始した。全ての項目を満たすということは難しいため、行政と連携して取り組んでいきたいと思う。御協力のほどよろしくお願いします。
吉岡委員	今年度の食育の取組として事務局から説明のあった「野菜を食べよう」キャンペーンについて、昨年度に引き続き、協力する予定である。
小林委員	リーフレット「備蓄のすすめ」については、秋に実施予定の「備えるフェスタ」で配布できるとよいと思う。
久津摩委員	保育園で保育をしていた経験があり、食育に関心がある。最近は畑の土のミネラル分が少なくなっているなど、野菜についてもミネラルが不足していると聞くことがあり、ミネラル食としてだしを使う、小さい煮干しをオリーブ油や酢につけて軟らかくして食べるという取組をしている。本部会に参加して皆様の意見を参考にさせていただいているところである。
佐野部会長	各団体の取組を聞き、改めて行政、家庭、学校、地域、企業と様々な分野での連携が不可欠だと実感した。特に、計画に新たに追加された食環境づくりについては、行政のみで実現することは難しいと思うため、公民連携、委員の皆様の所属する団体との連携がキーワードになってくると思う。 既に各団体に所属される委員の皆様は、食育の推進を既に勧めていただいているところではあるが、ぜひ横のつながりをさらに強固なものにして、計画の目標達成に向けて、さらなる御努力を改めてお願いします。 議案にあった今年度の取組については、各委員の意見も加味して、事務局で進めていただくようお願いします。
3 その他	
事務局	議事(3)事務局説明にあった「資料5-4」リーフレット「食品の備蓄のすすめ」の改定について、御意見をいただける団体は、8月中を目安に事務局までご意見を願います。 次回の会議は2月3日に川崎市市役所本庁舎で予定している。よろしくお願いします。
4 閉会	